

2025年度自然科学研究機構岡崎連携プラットフォーム「スピン生命科学コア」 共同利用研究（Spin-L 連携研究）公募要項

1. 公募事項

生理学研究所が、分子科学研究所と生命創成探究センターとともに岡崎連携プラットフォーム「スピン生命科学コア」において推進している共同利用研究の発展に資するため、「Spin-L 連携研究」を1件公募する。Spin-L 連携研究は、自然科学研究機構以外の研究機関に所属する研究者が、スピン生命科学コア内に研究グループを組織して実施するものであり、本公募では、「生体用高磁場 MRI 装置群（小動物用 11.7 テスラ及び、ヒト用 7 テスラ／3 テスラ）と多核種分子プローブによる生体深部情報の可視化：次世代医学診断技術の創出を目指す統合的研究」を、1件募集する。提案代表者は生理学研究所およびスピン生命科学コアにおいて客員教授又は客員准教授となり研究課題を実施する。提案代表者を PI（Principal Investigator）として組織される研究グループは、スピン生命科学コア内外の複数の研究者と連携し、学際的な共同研究を推進することが強く期待される。研究の実施にあたっては生理学研究所およびスピン生命科学コアの研究スペースを利用し、Spin-L が雇用する年俸制の特任准教授または特任助教と協力して研究を実施する。

2. 研究期間

最長で研究開始日から 2029 年 3 月 31 日まで。研究開始から 2 年経過後に中間評価を実施する場合がある。

3. 申請資格

大学又は国・公立研究所等の研究機関に所属し、大学における准教授相当以上の常勤研究者又はスピン生命科学コア長がこれと同等の研究能力を有すると認める者（自然科学研究機構に所属する研究者は除く）。

4. 申請方法

所定の申込用紙をダウンロードし、PDF ファイルにしたものを、「Spin-L 運営事務局宛」にメールで提出してください。（E-mail: spinl-core@nips.ac.jp）ファイル名は「spinl_姓（アルファベット表記）_名（アルファベット表記）」としてください（例：spinl_Okazaki_Taro）。

5. 申請期限

2025 年 8 月 20 日（水） 17 時 00 分

6. 採否決定

スピン生命科学コア共同利用・共同研究委員会の議を経てスピン生命科学コア長が決定します。なお、審査にあたり、必要に応じてスピン生命科学コア共同利用・共同研究委員会において申請者へのヒアリングを実施する場合があります。

7. 採否決定の時期

2025 年 9 月末頃

8. 研究費・旅費

予算の範囲内で自然科学研究機構役職員旅費規程により支給します。

9. 放射線業務従事認定申請書の提出

放射性同位元素を使用される場合は、採択後、放射線業務従事者登録手続きが必要となります。

10. 遺伝子組換え実験

遺伝子組換え実験を伴う場合は、採択後、岡崎3機関の遺伝子組換え実験安全委員会の審査を経て承認が必要となります。

11. 動物実験

動物実験を伴う場合は、採択後、自然科学研究機構動物実験委員会の審査を経て機構長の承認が必要となります。

12. ヒト及びヒトから得られた標本を対象とする研究

各共同利用研究又は共同利用実験において、「ヒト及びヒトから得られた標本を対象とする研究」を伴う場合、予め所属機関の倫理委員会での承認が必要です。所属機関に倫理委員会がない場合、所属機関長からの倫理上問題ない旨の確認書が必要となります。また、採択後、自然科学研究機構生命倫理審査委員会の審査を経て承認が必要となります。加えて、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づく臨床研究に該当する研究課題については、事前に本センター内研究者にご相談ください。

13. ヒトゲノム・遺伝子解析研究

「ヒトゲノム・遺伝子解析研究」を伴う場合は、採択後、自然科学研究機構生命倫理審査委員会の審査を経て承認が必要となります。

14. 研究活動における不正行為を未然に防ぐための研究倫理教育の受講

本共同利用研究を実施する場合は、研究活動開始前に「研究活動における不正行為へのガイドライン」にて求められている研究活動における不正行為を未然に防止するための研究倫理教育の受講等が必要となります。

15. 研究報告書の提出

毎年終了後に、提案代表者から研究報告書をスピン生命科学コア長へ提出していただきます。この研究報告書は **Spin-L** の発行する印刷物やホームページ等に掲載される場合があります。

16. 研究成果の明示

本共同利用研究で得られた成果を論文にされる場合は、**Spin-L** の共同利用・共同研究として行われたことを明示してください。

※記入例

(和文)本研究は、文部科学省共同利用・共同研究システム形成事業～学際領域展開ハブ形成

プログラム～(分子・生命・生理科学が融合した次世代新分野創成のためのスピ生命フロンティアハブの創設)JPMXP1323015488(課題番号: ***) の助成を受けたものです。

(英文) This work was supported by MEXT Promotion of Development of a Joint Usage/Research System Project: Coalition of Universities for Research Excellence Program (CURE) Grant Number JPMXP1323015488 (Spin-L program No, ***)

課題番号「***」は採択通知に記載します。

1 6. 知的財産権の取扱について

自然科学研究機構職務発明等規程（平成16年自機規程第12号）に定めるところによる。（※共同利用研究に採択された場合、提案代表者及び共同利用研究者は「共同利用研究員」という身分で採択課題に関する研究を実施することとなり、上記の規程における役職員に準じた取扱いとなります。（具体的な内容については個別にお問い合わせください。）

1 7. 宿泊施設

岡崎共同利用支援施設である宿泊施設を利用できます。 ※満室等の理由により利用できない場合がございますので、利用をご希望の際は、予めスピ生命科学コア内研究教職員へご相談ください。

1 8. 育児支援について

空きがある場合に事業所内保育施設を利用できます。（利用希望日の6週間前を目安に下記までお問い合わせください。）

自然科学研究機構岡崎統合事務センター総務課 総務係 電話 55-7112（ダイヤルイン）

1 9. 男女共同参画の推進

自然科学研究機構では男女共同参画を推進しています。共同利用研究の立案・実施にあたりご配慮をお願いします。

2 0. 個人情報について

公募により提供された個人情報は、課題審査を目的としてのみ利用します。 また、採択された課題については、広報用印刷物及びホームページ等に提案代表者 氏名、所属、研究課題名等を掲載する場合がありますので、ご承知おきます。

2 1. 相談窓口

「スピ生命科学コア」共同利用研究（Spin-L 連携研究）に関して、不明な点や確認したい事項がありましたら、下記の相談窓口までお気軽にお問い合わせください。

〈相談窓口〉 Spin-L 運営事務局 E-mail: spinl-core@nips.ac.jp

《 所在地 》

明大寺キャンパス： 〒444-8585 愛知県岡崎市明大寺町字西郷中 38

《 交通機関 》

・東京方面から：豊橋駅にて名古屋鉄道（名鉄）に乗換え、東岡崎駅下車（豊橋-東

岡崎間特急で約 20 分)。南 (改札を出て左側) に徒歩で約 7 分。

- ・大阪方面から：名古屋駅にて名古屋鉄道 (名鉄) に乗換え、東岡崎駅下車 (名鉄名古屋-東岡崎間特急で約 30 分)。南 (改札を出て左側) に徒歩で約 7 分。
- ・自動車利用の場合：東名高速道路の岡崎 I.C. を降りて 国道 1 号線を名古屋方面に約 1.5Km 市役所南東の信号を左折。I.C. から約 10 分。

詳しくは、生理学研究所 H P (<https://www.nips.ac.jp/>) を御参照ください。